






4 主要事業一覧

※【新】:新規事業  
【創】:しあわせ信州創造経費での要求事業  
【地】:地域振興局長からの提案、意見等反映事業




建設部




事業名 [事業改善シート番号] (関係するSDGsのアイコン)	事業内容及び金額(千円) (*は成果目標)				
<b>◎ 防災・減災対策の推進</b>					
<p>1 流域全体で取り組む総合治水対策事業費 [110501][110502][110503][110504]</p> 	<p>災害が頻発・激甚化している現状を踏まえ、災害を未然に防止するための対策を集中的に実施するほか、国・市町村との連携による「流域治水プロジェクト」を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>再度災害防止のための改良復旧等のハード対策</li> <li>【創】・事務所や家庭で行う雨水貯留に関する普及・啓発</li> <li>浸水想定区域図の作成</li> </ul> <p>*流域治水対策に取り組む市町村数: 77市町村(2025年度) *浸水想定区域図の作成: 319河川(2022年度) *再度災害防止のための改良復旧: 11箇所(2021年度) *危機管理型水位計の設置: 10基(2021年度) *簡易型河川監視カメラの設置: 100基(2021年度)</p> <p>[参考] R2当初予算(3か年緊急対策分除く) 7,007,366千円</p> <table border="1" data-bbox="549 1025 1527 1099"> <tr> <td>R3要求 [債務負担行為額]</td> <td>3,914,244 [1,706,655]</td> <td>R2当初</td> <td>10,313,526</td> </tr> </table>	R3要求 [債務負担行為額]	3,914,244 [1,706,655]	R2当初	10,313,526
R3要求 [債務負担行為額]	3,914,244 [1,706,655]	R2当初	10,313,526		
<p>2 要配慮者利用施設・避難所を守る土砂災害対策事業費 [110601]</p> 	<p>土砂災害特別警戒区域等に立地する要配慮者利用施設や避難所を守るため、ハード対策とソフト対策の両面から土砂災害対策を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>土砂災害特別警戒区域内の要配慮者利用施設の保全(全55施設)</li> <li>土砂災害警戒区域内の木造1階建ての児童・老人福祉関係施設の保全(全69施設)</li> <li>土砂災害対策特別警戒区域内に指定された避難所の保全(全57施設)</li> </ul> <p>*要配慮者利用施設の保全完了数:49(2020年度)→55(2022年度) *木造1階建て児童・老人福祉関係施設対策着手数:55(2020年度)→69(2022年度) *避難所対策施設着手数:29(2020年度)→57(2022年度)</p> <p>[参考] R2当初予算(3か年緊急対策分除く) 407,145千円</p> <table border="1" data-bbox="549 1590 1527 1664"> <tr> <td>R3要求 [債務負担行為額]</td> <td>808,080 [760,000]</td> <td>R2当初</td> <td>1,762,800</td> </tr> </table>	R3要求 [債務負担行為額]	808,080 [760,000]	R2当初	1,762,800
R3要求 [債務負担行為額]	808,080 [760,000]	R2当初	1,762,800		
<p>3 流域を保全する土砂災害対策事業費 [110601]</p> 	<p>令和元年東日本台風による土砂災害等、近年激甚化している災害を踏まえ、土石流や流木対策に加え、再度災害防止のための緊急土砂災害対策、除石等による既存堰堤の機能増進等、流域を保全する土砂災害対策を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>再度災害を防止する砂防事業の新規着手数: 2(2021年度)</li> <li>土石流とともに流木を止める砂防事業の新規着手数: 9(2021年度)</li> <li>既存堰堤の機能増進新規着手数: 7(2021年度)</li> <li>下流河川に甚大な影響を及ぼす地すべりを防止する事業: 2(2021年度)</li> </ul> <p>[参考] R2当初予算(3か年緊急対策分除く) 4,023,760千円</p> <table border="1" data-bbox="549 2060 1527 2143"> <tr> <td>R3要求 [債務負担行為額]</td> <td>6,628,648 [3,820,000]</td> <td>R2当初</td> <td>8,715,200</td> </tr> </table>	R3要求 [債務負担行為額]	6,628,648 [3,820,000]	R2当初	8,715,200
R3要求 [債務負担行為額]	6,628,648 [3,820,000]	R2当初	8,715,200		


<p style="text-align: center;">事業名 [事業改善シート番号] (関係するSDGsのアイコン)</p>	<p style="text-align: center;">事業内容及び金額(千円) (*は成果目標)</p>													
<p>4 赤牛先生による地域での防災教育事業費 [110601]</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>11 住み続けられるまちづくりを</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>13 気候変動に具体的な対策を</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">砂防課</p>	<p>地域防災力向上のため、砂防ボランティア協会との連携により「赤牛先生<sup>*</sup>」を公民館等に派遣し、土砂災害や水害を「我が事として捉える防災意識」を醸成するとともに、地区防災マップの作成等、住民の自主的な防災活動を促進します。</p> <p>※赤牛先生… 各地に語り継がれる「赤牛伝説」は水に関する話が多く、その地域特有の災害への忠告であるともいわれていることから、防災教育の講師を「赤牛先生」と呼んでいます。</p> <p>*公民館(本館)向け防災講座実施数: 63回(2021年度) *要配慮者利用施設管理者向け防災講座実施数: 15回(2021年度) *3部局連携による災害時住民支え合いマップと地区防災マップの作成: 15市町村(2021年度)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%; text-align: center;">R3要求</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">1,665</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">R2当初</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">1,393</td> </tr> </table>				R3要求	1,665	R2当初	1,393						
R3要求	1,665	R2当初	1,393											
<p>5 災害復興住宅建設等補助事業費 [110802]</p> <div style="text-align: center;">  <p>11 住み続けられるまちづくりを</p> </div> <p style="text-align: center;">建築住宅課</p>	<p>令和元年東日本台風により被災した住宅の建設・補修等を支援するため、必要な資金の借入れに対して利子相当額の一部を助成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・補助対象者 住宅建設・購入又は補修のために住宅金融支援機構等から資金の貸付けを受けた者</li> <li>・補助額 利子相当額 建設・購入は10年分、補修は5年分 ※住宅金融支援機構の災害復興住宅融資の利子相当額を上限とする。 (参考: 令和2年11月時点 0.54%)</li> </ul> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%; text-align: center;">R3要求</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">100,000</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">R2当初</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">70,740</td> </tr> </table>				R3要求	100,000	R2当初	70,740						
R3要求	100,000	R2当初	70,740											
<p>6 克雪住宅普及促進事業費 [110802]</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>11 住み続けられるまちづくりを</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>13 気候変動に具体的な対策を</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">建築住宅課</p>	<p>特別豪雪地帯の雪下ろしの負担を軽減し、作業中の転落事故を未然に防ぐため、市町村が行う住宅の克雪化の支援に対し、県がその費用の一部を補助します。</p> <p>&lt;補助率について&gt;</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">・融雪型(新築、増築、改築、改修)</td> <td style="width: 40%;">補助率1/5(1/4) 限度額60万円(75万円)</td> </tr> <tr> <td>・自然落雪型(改修のみ)</td> <td>補助率1/5(1/4) 限度額45万円(55万円)</td> </tr> <tr> <td>・雪下ろし型(改修のみ)</td> <td>補助率1/2 限度額8万円</td> </tr> </table> <p>※( )内は高齢者世帯等に対して適用する補助率・限度額</p> <p>*克雪住宅整備戸数: 27戸(2021年度)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%; text-align: center;">R3要求</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">6,708</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">R2当初</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">7,454</td> </tr> </table>				・融雪型(新築、増築、改築、改修)	補助率1/5(1/4) 限度額60万円(75万円)	・自然落雪型(改修のみ)	補助率1/5(1/4) 限度額45万円(55万円)	・雪下ろし型(改修のみ)	補助率1/2 限度額8万円	R3要求	6,708	R2当初	7,454
・融雪型(新築、増築、改築、改修)	補助率1/5(1/4) 限度額60万円(75万円)													
・自然落雪型(改修のみ)	補助率1/5(1/4) 限度額45万円(55万円)													
・雪下ろし型(改修のみ)	補助率1/2 限度額8万円													
R3要求	6,708	R2当初	7,454											

事業名 [事業改善シート番号] (関係するSDGsのアイコン)	事業内容及び金額(千円) (*は成果目標)			
7 住宅・建築物耐震改修総合 支援事業費 [110802]    建築住宅課	住宅や避難施設となる建築物等の耐震化を促進するため、市町村と協調し、住宅・建築物の所有者が行う耐震診断・改修を支援するとともに、耐震改修に携わる施工者及び設計者の技術力向上を図るため、講習会等を実施します。  <ul style="list-style-type: none"> <li>・戸建住宅等の耐震診断、耐震改修への補助(耐震改修限度額100万円)</li> <li>・耐震化の普及啓発を実施する市町村への支援と県主体の出張講座の実施</li> <li>・改修事業者の技術力向上のための講習会の実施(改修事業者リスト化)</li> </ul> *住宅の耐震診断: 934件(2021年度) *住宅の耐震改修: 245件(2021年度)			
8 公共施設耐震対策事業費 [111001]   施設課	震災時の応急活動等に必要な施設を継続して使用できるようにするため、防災上重要な拠点等となる県有施設の耐震性能を強化します。  <ul style="list-style-type: none"> <li>・設計 4棟</li> <li>・工事・監理 15棟</li> </ul>			
<b>◎ 観光地域の基盤づくり</b>				
9 「道の駅」整備・リニューアル 事業費 [110302]    道路管理課	「道の駅」において、地域活性化やインバウンド観光誘客、観光振興に資するトイレの洋式化や多目的トイレの改修等を進め、観光拠点としての利便性向上やイメージアップを図ります。  *道の駅リニューアル実施箇所: 14箇所(2022年度)  [参考] R2当初予算(3か年緊急対策分除く) 231,213千円			
<b>【地】</b> 10 「Japan Alps Cycling(ジャパ ンアルプスサイクリング)」 ブランド構築事業費 [110302]    道路管理課	世界水準の山岳高原リゾートを実現する重要なコンテンツとして、自転車の活用による地域づくりを進めるため、自転車通行空間を整備します。  <ul style="list-style-type: none"> <li>・諏訪湖周サイクリングロードの整備</li> <li>・矢羽根型路面表示<sup>※</sup>の設置 等</li> </ul> ※自転車の通行位置・方向を示すため車道路肩に表示するマーク  *延べ宿泊者数: 1,780万人(2016年) → 2,175万人(2022年) *外国人延べ宿泊者数: 113.5万人(2016年) → 300万人(2022年)			
	R3要求	549,376	R2当初	470,000



事業名 [事業改善シート番号] (関係するSDGsのアイコン)		事業内容及び金額(千円) (*は成果目標)				
11 ふるさと古民家再生支援 事業費 [110801] 	古民家の修繕・再生や維持管理方法の提案を行うことにより、安全・安心な活用と地域活性化を図ります。  ・専門家を派遣し、建物調査及び再生方法の提案 ・古民家再生支援協議会の運営	*古民家調査件数: 10件(2021年度) *古民家再生提案件数: 2件(2021年度)				
		建築住宅課	R3要求	1,803	R2当初	763
		<b>◎ 潤いのあるまち・むらづくり</b>				
12 信州地域デザインセンター (UDC信州) 事業費 [110701]  	快適で賑わいのあるまちづくり実現のため、公・民・学が連携し、それぞれの得意分野やネットワークを活かし、多彩な視点から、市町村と協働してまちづくりを推進します。  ・まちづくり支援(地域に応じた都市デザイン・マネジメント) ・まちづくりセミナー(人材育成)の開催 ・信州のまちづくりに係る情報の発信	*市町村との協働のまちづくり実施件数: 25件(2021年度)				
		都市・まちづくり課	R3要求	21,104	R2当初	21,619
		<b>【新】【創】</b>				
13 まちなかへのグリーンインフラ導入推進事業費 [110702]  	『長野県気候危機突破方針』に掲げる2050ゼロカーボン(二酸化炭素排出量を2050年度までに実質ゼロ)の達成に向け、まちなかへの「グリーンインフラ」の導入を積極的に推進します。  ・駐車場緑化モデル事業(若里公園) ・グリーンインフラに係る市町村・事業者への普及啓発 ・まちなかへのグリーンインフラ導入に向けた制度研究(ゼロ予算)	*県内主要市における「まちなか緑被率 <sup>※</sup> 」: 指標値を維持(2025年度) ※主要駅周辺の緑被率				
		都市・まちづくり課	R3要求	39,990	R2当初	0

事業名 [事業改善シート番号] (関係するSDGsのアイコン)	事業内容及び金額(千円) (*は成果目標)			
<b>【新】【創】</b> 14 健康エコ住宅普及促進事業費 [110801]   建築住宅課	住宅分野における2050年ゼロカーボンを実現するため、高い断熱性能を有し、信州の恵まれた森林資源や日射量、自然環境を活かした、地域の工務店による、信州らしい住まいづくりを推進します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・信州らしさを活かした住まいづくりを普及促進するための指針策定</li> <li>・県民の機運醸成、事業者の技術力向上のための説明会・講習会の開催</li> </ul>			
*新築住宅におけるゼロカーボン住宅の割合: 100%(2030年度)				
	R3要求	12,209	R2当初	0
15 環境配慮型住宅普及促進事業費 [110801]   建築住宅課	持続可能な脱炭素社会を構築するため、自然エネルギーなどを活用した環境配慮型住宅の新築やリフォームへの支援を実施します。 <ol style="list-style-type: none"> <li>省エネ基準を満たし、県産木材を活用した新築住宅への補助               <ul style="list-style-type: none"> <li>・補助額 30万円～80万円</li> </ul> </li> <li>省エネルギー化リフォームへの補助               <ul style="list-style-type: none"> <li>・補助率 助成対象工事費の1/5</li> <li>・補助額上限 50万円</li> <li>・自然エネルギー導入等へ補助額を加算</li> </ul> </li> </ol>			
*新築: 150件(2021年度) *リフォーム: 219件(2021年度)				
	R3要求 [債務負担行為額]	163,200 [31,000]	R2当初	168,660
16 空き家適正管理促進事業費 [110801]   建築住宅課	増加する空き家の適正管理と円滑な流通を促進するため専門家を派遣し、市町村への技術的な支援を行うとともに、既存住宅現況検査(インスペクション)費用等への補助を行います。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家対策セミナーの開催</li> <li>・課題解決に取り組む市町村へ専門家を派遣</li> <li>・既存住宅現況検査費用、既存住宅売買瑕疵保険料への補助</li> </ul>			
*既存住宅現況検査件数: 30件(2021年度) *既存住宅売買瑕疵保険加入件数: 20件(2021年度)				
	R3要求	3,237	R2当初	3,597







<p>事業名 [事業改善シート番号] (関係するSDGsのアイコン)</p>	<p>事業内容及び金額(千円) (*は成果目標)</p>			
<p>17 県営住宅『5R』プロジェクト 推進事業費 [110901]</p>   <p>公営住宅室</p>	<p>住宅に困窮する所得の少ない方の安心・安全・快適な暮らしを確保するため、県営住宅プラン2016に基づく『5R』プロジェクトを推進し、県営住宅の整備充実を図ります。</p> <p>リノベーション事業《Renovation》 老朽化した中高層住宅を活用し、子育て世帯が安心して住める県営住宅としてリノベーション ・リノベーション戸数 8戸</p> <p>リフォーム事業《Reform》 入浴設備のない中高層住宅の浴室をリフォーム(ユニットバスや浴槽等を設置) ・入浴設備設置 240戸 断熱性能が低い中高層住宅の外壁や窓などをリフォーム(外断熱工法、断熱サッシ等の採用) ・実施設計 3団地16棟</p> <p>リニューアル事業《Renewal》 今後も維持が必要な低層住宅を厳選してリニューアル(全面的リフォーム) ・リニューアル戸数 6戸 エレベーター設備のない中層住宅をリニューアル(エレベーター設置) ・劣化度調査、実施設計 3団地3棟</p> <p>建替事業《Reconstruction》 将来の市町村移管の協議が整った団地の建替え ・建替戸数 65戸(着手20戸、継続45戸)</p> <p>再編事業《Restructuring》 居住環境の整った団地への集約・移転の促進、老朽化した住宅の除却と土地の有効活用 ・集約・移転 130戸、除却 96戸</p>			
	<p>*子育て世帯向けリノベーション整備: 8戸 *中高層住宅入浴設備設置住戸: 75.2%(2016年度) → 93.2%(2021年度) *建替着手戸数: 20戸</p>			
	R3要求 [債務負担行為額]	2,038,820 [421,866]	R2当初	1,924,221
<p>◎ 本州中央部広域交流圏の形成</p>				
<p>18 リニア中央新幹線活用 地域振興事業費 [111101]</p>  <p>リニア整備推進局</p>	<p>リニア中央新幹線の整備効果を広く県内に波及させ、地域の振興を図るため、多様な主体と連携し、リニア関連構想の実現に向けた検討、取組を進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・沿線県(山梨・岐阜)との広域二次交通や広域観光の連携について共同研究</li> <li>・「リニアバレー構想」の実現に取り組む地域の団体等に、課題に応じたアドバイザーを派遣</li> </ul> <p>【地】・リニア長野県駅を起点とした広域公共交通ネットワークの構築に向けた調査等</p>			
	R3要求	7,130	R2当初	5,254

事業名 [事業改善シート番号] (関係するSDGsのアイコン)	事業内容及び金額(千円) (*は成果目標)			
19 リニア中央新幹線用地取得 事業費 [111101]  リニア整備推進局	全国新幹線鉄道整備法に基づき、JR東海から関係町村(大鹿村、豊丘村、喬木村、阿智村、南木曾町)における用地取得事務の一部を受託し、用地交渉や不動産鑑定等を行います。			
	R3要求	59,123	R2当初	63,001

## ◎ 水環境の保全

<b>【地】</b> 20 諏訪湖創生ビジョン推進 事業費 [110502]   河川課	「諏訪湖創生ビジョン」に掲げる「人と生き物が共存し、誰もが訪れたいくなる諏訪湖」を目指す取組を進めるため、水草除去等による水質改善や湖面の利活用を図ります。  ・水草除去などの水質浄化工法の実施  *水草除去: 510t(2021年度) *環境調査一式(2021年度) *覆砂一式(2021年度)			
	R3要求	221,550	R2当初	235,941

## ◎ 建設産業の振興と人材の確保・育成

21 建設産業の次世代を担う 人づくり推進事業費 [110102]    技術管理室	産学官の連携強化により、建設産業の次世代を担う人材の確保・育成を推進します。  ・建設系学科高校生等が建設産業の魅力を感じ取るため、測量・設計・工事のプロセスを自ら実践する学びのフィールドを提供 ・担い手の育成と就業後の離職防止を図るため、資格取得を支援する試験準備講座を実施  *土木・建築系学科高校生の建設産業への就職割合: 69%(2017年度) → 75%(2021年度)			
	R3要求	2,501	R2当初	2,288
22 信州木のある暮らし推進 事業費 [110801]    建築住宅課	“信州の木”のある暮らしの魅力を発信するため、優良な木造建築物の表彰、木造建築の担い手確保に向けた啓発及び二地域居住者向けコンパクト住宅の普及を促進します。  ・優良な木造建築物への「“信州の木”建築賞」表彰 ・中学校への大工技能者の派遣実習の実施 ・二地域居住者向けプレゼンテーションの実施  *コンパクト住宅プレゼンテーション来場者数:62人(2016年度) → 75人(2021年度)			
	R3要求	3,347	R2当初	3,302

事業名  
[事業改善シート番号]  
(関係するSDGsのアイコン)

事業内容及び金額(千円)  
(\*は成果目標)

◎ 公共事業関係費

23 補助公共事業費  
(一部再掲)

[110302][110303][110402]  
[110501][110502][110503]  
[110601][110702][110703]



道路管理課  
道路建設課  
河川課  
砂防課  
都市・まちづくり課

安全・安心な県土づくりを進めるとともに、持続可能な地域づくりを実現するため、国の予算を活用した補助公共事業を行います。

課名	要求額(千円)	主な路線・河川名
道路管理課	13,905,743	(国)117号、(国)158号、(主)下諏訪辰野線、(一)旧軽井沢軽井沢(停)線
道路建設課	23,377,137	(国)148号、(国)153号、(国)361号、(主)飯島飯田線、(一)上松南木曾線
河川課	9,053,200	(一)千曲川、(一)奈良井川、(一)浅川、(一)北沢川、(一)諏訪湖
砂防課	12,164,808	中の村沢(松川町)、栃木川(小諸市)、大倉(生坂村)、東大塚(大町市)
都市・まちづくり課	5,770,000	(都)県庁篠ノ井線、(都)内環状南線、(都)東新町座光寺線、松本平広域公園
合計	64,270,888	

[参考] R2当初予算(3か年緊急対策分除く) 55,584,020千円

R3要求 [債務負担行為額]	64,270,888 [39,471,048]	R2当初	85,275,686
-------------------	----------------------------	------	------------

24 県単独公共事業費  
(一部再掲)

[110302][110402][110702]  
[110703]



道路管理課  
道路建設課  
河川課  
砂防課  
都市・まちづくり課



観光地周辺の道路整備や河川等の浚渫、園児の交通安全対策など、喫緊の課題に対応するため、県単独の予算による事業を行います。

課名	要求額(千円)	主な路線・河川名
道路管理課	8,559,294	(国)141号、(国)418号、(主)松本環状高家線、(一)川合川中島線
道路建設課	3,506,588	(主)小諸上田線、(一)北林飯島線、(主)塩尻鍋割穂高線、(一)牟礼永江線
河川課	3,438,165	(一)千曲川、(一)遠山川、(一)諏訪湖、(一)保福寺川、(一)犀川
砂防課	628,302	ヒライシ沢(岡谷市)、柿沢川(伊那市)、穴尾(小川村)、南組(長野市)
都市・まちづくり課	462,778	(都)岩野ニツ柳線、松本平広域公園
合計	16,595,127	

(一部 森林づくり県民税基金活用事業)

R3要求 [債務負担行為額]	16,595,127 [2,540,000]	R2当初	17,598,072
-------------------	---------------------------	------	------------



<p style="text-align: center;">事業名 [事業改善シート番号] (関係するSDGsのアイコン)</p>	<p style="text-align: center;">事業内容及び金額(千円) (*は成果目標)</p>																			
<p>25 災害復旧事業費</p>  <p>河川課</p>	<p>令和元年東日本台風や令和2年7月豪雨等の災害により被災した公共土木施設の復旧事業を行います。</p> <table border="1" data-bbox="549 488 1528 562"> <tr> <td style="text-align: center;">R3要求 [債務負担行為額]</td> <td style="text-align: center;">11,277,385 [923,607]</td> <td style="text-align: center;">R2当初</td> <td style="text-align: center;">14,841,076</td> </tr> </table>				R3要求 [債務負担行為額]	11,277,385 [923,607]	R2当初	14,841,076												
R3要求 [債務負担行為額]	11,277,385 [923,607]	R2当初	14,841,076																	
<p>26 直轄事業負担金</p>  <p>建設政策課</p>	<p>国が進める道路事業や河川事業、砂防事業等について、地元自治体として負担金を支出します。</p> <table border="1" data-bbox="598 734 1078 999"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>要求額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>道 路</td> <td style="text-align: right;">7,943,000</td> </tr> <tr> <td>河 川・ダム</td> <td style="text-align: right;">4,730,000</td> </tr> <tr> <td>砂 防</td> <td style="text-align: right;">2,911,000</td> </tr> <tr> <td>災 害 復 旧</td> <td style="text-align: right;">417,000</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td style="text-align: right;">16,001,000</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">[参考] R2当初予算(3か年緊急対策分除く) 20,698,437千円</p> <table border="1" data-bbox="549 1077 1528 1149"> <tr> <td style="text-align: center;">R3要求</td> <td style="text-align: center;">16,001,000</td> <td style="text-align: center;">R2当初</td> <td style="text-align: center;">23,651,437</td> </tr> </table>				区 分	要求額(千円)	道 路	7,943,000	河 川・ダム	4,730,000	砂 防	2,911,000	災 害 復 旧	417,000	合 計	16,001,000	R3要求	16,001,000	R2当初	23,651,437
区 分	要求額(千円)																			
道 路	7,943,000																			
河 川・ダム	4,730,000																			
砂 防	2,911,000																			
災 害 復 旧	417,000																			
合 計	16,001,000																			
R3要求	16,001,000	R2当初	23,651,437																	